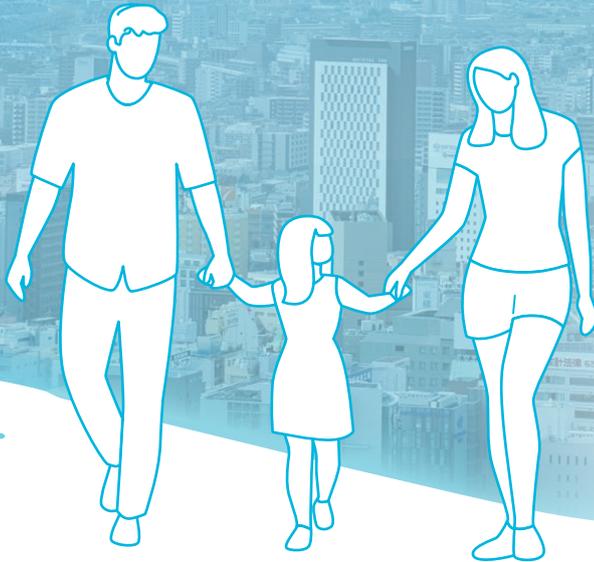


# どこまで進んでいるの？ 愛知の自衛隊基地、軍事産業の今。

—再び戦争の惨禍が起こることのないように



2022年末に閣議決定された「安保三文書」は、日本の安全保障政策を抜本的に転換し、そのもとで軍事予算の大幅な増額、「敵基地攻撃能力」あるいは反撃能力の保有をはじめとする軍備の増強、防衛産業の強化等が進められています。この企画では、愛知における自衛隊基地、軍事産業等が進められている長射程ミサイルの生産や次期戦闘機の共同開発等の推進等の現状をみつめたうえで、再び戦争の惨禍が起こることのないようにするために、今、主権者である私たちにはどのような選択を行うことが必要なのかを市民の皆さんと考えあいたいと思います。



日時

2025年 **10月4日** (土)

午後1時30分～午後4時 [午後1時開場]

場所

愛知県弁護士会館5階ホール  
(名古屋市中区三の丸1-4-2)

主要内容

1 基調講演 午後1時30分～

半田滋氏 (ジャーナリスト)

半田滋 (はんだ・しげる)  
1955年(昭和30)年生まれ。防衛ジャーナリスト、獨協大学非常勤講師、元東京新聞論説兼編集委員。元法政大学兼任講師。元海上保安庁政策アドバイザー。92年より防衛庁(省)取材を担当。2007年、東京新聞・中日新聞連載の「新防人考」で第13回平和・協同ジャーナリスト基金賞(大賞)を受賞。



2 特別報告 午後2時50分～

愛知県平和委員会

3 鼎談 午後3時20分～4時まで

弁護士(憲法問題委員会)×半田滋×平和委員会関係者

鼎談(ていだん) …専門家や有識者など、三者が向かい合って話し合うこと。

参加費

無料

定員 **100**名(先着順 事前申込不要)

手話通訳有

お問い合わせ先

愛知県弁護士会人権法制係  
電話 052-203-4410

[注意点] 資料の無断使用、無断転載不可  
当日投影資料の写真撮影不可

主催 **愛知県弁護士会**

名古屋市中区三の丸1-4-2

共催 日本弁護士連合会